



いなぎ苑 歳時記



2

月に節分会を行いました。今年は節分が124年ぶりに2日という珍しい年でした。特養では職員が赤鬼・青鬼に扮して各階を大暴れ！利用者様は豆の代わりに紅白の玉を片手に鬼退治！無事に厄は払えたでしょうか



外

遊び。コロナ禍の為、企画外出もままならず、どうしても施設の中で過ごす時間が多くなります。しかし、晴れた日はいなぎ苑自慢の苑庭に利用者様をご案内し、運動も兼ねて外遊び等を行っています。少しは心も晴れたでしょうか。



3

月3日にひな祭りの行事を行いました。日本各地で行われている有名なひな祭りの映像をプロジェクターに映し出しご覧いただきました。その後、皆さんがお好きな歌を合唱し、桃色の水羊羹と甘酒でひな祭りを祝いました。



お花見

今年は桜の開花が早く、4月では間に合わないという事で、急遽3月最終日曜に行いました。生憎の雨模様の為、さくら庵の中でのお花見でしたが、満開の桜を堪能しました。皆で春を歌い、穏やかな時間を過ごしました。



さつき

いなぎ苑の鯉のぼりは利用者様の居室の窓からすぐ見える場所で泳いでます。風の強い日はうねっていて、迫力があつたと利用者様の弁。毎年、近くの園児たちが鯉のぼりの「しっぽ」を触りに来てくれます。みんな、お利口さん。

~~ 春 WITH コロナ ~~



楽

デイではコロナ対応の為、ボランティアさんの活動(踊りや歌)を全て中止させて頂いています。しかし、「気が滅入りがちな今、利用者様にいなぎ苑のデイをもっと楽しんで頂きたい」という思いから、お楽しみ会を企画開催しています。



会

いなぎ苑では現在、特養の利用者様ご家族に面会の制限をお願いしております。その為、長くご家族にお会い出来ず、寂しい思いをされています。一部の方のみではありますが、PCを使ってリモート面会を実施しています。

~いなぎ苑 四季折々の花たち~



日頃、丹精込めて手入れしている自慢の苑庭です。コロナ明けには是非、ご来苑、ご観覧ください。

~ 施設長より ~

稲城市内でも、新型コロナウイルス感染者が増加しています。この様な状況の中でも、いなぎ苑では季節感や行事を大事にしています。鯉のぼりを揚げたり、5月人形を飾ったりしております。いろいろな歌をうたい、楽しいひと時を大切にしております。

永田 穂積

